



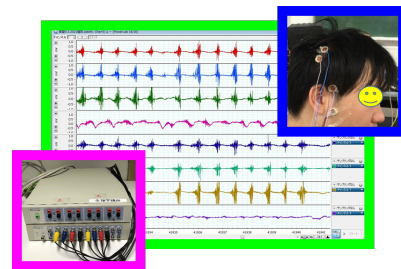
4.5

2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。

合田 征司
井上 博
藤本 哲也
歯学部
生理学講座

生理学と歯科医学 講義、実習、研究活動について

「講義」では生理学および口腔生理学の講義を行っています。ヒトの生命現象が分子、細胞、器官、個体の各レベルにおいて、精巧なメカニズムによって生体の恒常性が維持されていることを学びます。口腔生理学では口腔感覚、味覚、唾液、咀嚼など歯科医学と関連した生理学を学びます。「実習」では血圧、心電図、筋電図、感覚機能、咀嚼機能、味覚の実習を行っています。学生は座学で習った知識をもとに実習を行い、得られたデータを通して生体機能の総合的理解をさらに深め、効果的なフィードバックにつなげます。「研究活動」では歯科医学と関連した研究を行うという目標に沿い、痛みや唾液の生理的機能の研究、歯や骨の基となる細胞の活性化、神経系の移植などの再生医学に関する研究、さらに環境ホルモンの影響に関する研究など多岐にわたっています。



message

生理学は私たちが生きている体の仕組みを研究する学問です。「生命が働いている仕組み」を解明する生理学を知るとは、生命の尊厳を考えることにもつながるはずです。